

事務事業名		佐野ふるさと特使イメージアップ推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)				
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	広報広聴係	担当課長名	大木 聡	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 広報活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	753	一般	2	1	2	佐野ふるさと特使イメージアップ推進事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		H17年度～	根拠法令 条例等	佐野ふるさと特使設置要綱				
	任意の事業・義務的事業						任意の事業		任意の事業		
	実施方法						実施方法		直営		
事業分類						事業分類		広報・広聴・啓発事業			
リーディングプロジェクト						リーディングプロジェクト		該当なし			
市長マニフェスト						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・「佐野市の魅力・実力・潜在力」を県内外に積極的にアピールしていくため、各界において活躍している方々を「ふるさと特使」として委嘱し、本市のイメージアップを図る。  ・平成24年度より、佐野の魅力等のPR活動の他に、佐野市のイメージアップについての助言と、観光立市推進に当たっての助言及び情報の提供を行っていただくような協力体制を整える。そのため定期的に市政に関する意見・提言を求める調査表を送付し、協力を求める。		活動内容 ・在京佐野ふるさと会会員とふるさと特使との合同懇談会の開催 ・市政に関する情報として、広報さの、議会だより等を送付						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		佐野ふるさと特使委嘱数	人	0	0			
		市政に関する情報の送付回数	回	12	12			

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野ふるさと特使		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		佐野ふるさと特使人数	人	15	15			

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		ふるさと特使を通じて、多くの人に佐野市を知ってもらい、佐野市をアピールしてもらう。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
				ふるさと特使の名刺作成枚数	枚	0	100			

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市政に関心を持ってもらう。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		市ホームページ閲覧件数	件	626,200	606,517	542,000	544,000	546,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	11	9	20	0	0			
	事業費計(A)	千円	11	9	20	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償物資費	11	報償物資費	7	報償物資費	13		
			印刷製本費	0	消耗品費	2	消耗品費	7		
人件費	千円	117	118	118	118	118	118			
トータルコスト(A)+(B)	千円	128	127	138	118	118				

事務事業名	佐野ふるさと特使イメージアップ推進事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	広報広聴係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年から旧佐野市でふるさと特使を委嘱していたが、合併時に引き継ぎ、「佐野ふるさと特使」制度を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併により佐野市の圏域が拡大し、新しい魅力も増えた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	ふるさと特使の委嘱にあたっては、地域性(田沼・葛生地区)にも配慮した委嘱を心掛けるように。 (平成17年度定例監査)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	候補者の検討

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本市出身の著名人の活躍は、市のイメージアップにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	県内外の多くの人に佐野市をPRし、好印象を持ってもらうことは、佐野市にとっても好ましいことである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象を見直す必要がある	理由・改善案	本市出身の著名人に佐野市をアピールしてもらうためのものであるが、今後、本市在住の著名人で活躍している方を対象にするなど、見直しが必要と思われる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	本市出身の著名人の方々にふるさと特使を委嘱しているが、今後、ふるさと特使の対象者の見直しと、活用方法などを検討することにより、成果を向上させることができると思われる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名   佐野ブランド化推進事業 「佐野ブランド化推進事業」の一環として、本市在住の著名人に「ブランド大使」「ブランド姫」を委嘱しており、佐野市をアピールしてもらっている。これに対して「ふるさと特使」は、佐野市のアピールのほか、市と連携を保ち、市政推進のための助言などを提供していただく役目であるため、2つを統合することはできない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・ふるさと特使が懇談会出席時の記念品代と、PR用名刺代の計上であり、経費削減の余地はない。 ・人件費は、職員による事務連絡手続きであり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	広く佐野市を知ってもらうための広報活動の充実事業であり、受益者は特定されず負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	ふるさと特使は、本市を無償でアピールしてもらうことで委嘱している。今後も観光立市のPRのため、現時点で、廃止・休止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 佐野の魅力等のPR活動だけでなく、次のような協力体制を整える ①佐野市のイメージアップについての助言 ②観光立市推進に当たっての助言及び情報の提供	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	・ふるさと特使にふさわしい人を発掘する。また、ふるさと特使としての委嘱期間が定められていないなど、制度の再構築をする必要がある。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			